

「李朝陶磁と陶工たち」 姜健栄さん

日時：2013年5月7日（火）午後7時
 会場：神戸学生青年センター
 参加費：600円
 講師：姜健栄さん（大同クリニック理事長）



李朝時代、食器として庶民の間で使われていた茶碗が、日本に請来され、多くの茶人に愛好された。以前から高麗青磁や李朝白磁に魅せられていた著者は、1592年の「文禄・慶長の役」で、秀吉軍によって朝鮮半島南部から日本の九州をはじめ中国地方へ連行されてきた朝鮮陶工たちの足跡を辿り、これらの地方を旅して廻った。それは苦難の道程を歩まれた陶工たち探しの旅でもあったという。日本と韓国、両国の踏査体験を中心に李朝陶磁の清純と美の世界を探求し、エッセイ風にまとめられたのが姜健栄『李朝陶磁と陶工たち』。(2012.12、発行：朱鳥社(発売：星雲社)。初出は、2009年～2012年、『KOREA TODAY』誌に掲載されたもの)

著者をお招きして同題のセミナーを開きます。ふるってご参加ください。

「韓国歌謡とともに60年」 朴燦鎬さん

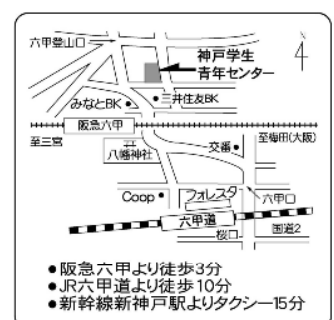
日時：2013年7月17日（水）午後7時
 会場：神戸学生青年センター
 参加費：600円
 講師：朴燦鎬さん（韓国大衆歌謡研究家）

朴燦鎬さんは、『韓国歌謡史 1895 - 1945』（1987、晶文社）の著者として知られています。その後、韓国で『韓国歌謡史 1』と『韓国歌謡史 2』が出版されました。(2009、韓国語)。「1」1987年に日本で出版されたものを修正・加筆したもので、「2」は、1945年～1980年までの時期について書き下ろされたものです。韓国では「その当時、韓国にいる歌謡史研究家達も収集できなかった貴重なSP盤を基に、長期間の忍耐と努力と執念とも言える熱意で資料収集執筆した成果は、韓国の研究家達にも甚大な影響を与え、その後の研究にも大きく役立ってきました」と評されています。2010年7月21日、朝日放送でも朴さんの「歌は海峡を越えて～大衆歌謡が証(あか)す日韓100年～」が放映されました。1988年7月、朝鮮史セミナーでは、滝沢秀樹さん、山根俊郎さんとともにシンポジウム「いま、韓国歌謡がおもしろい—かたち&うたう—」に来てくださいました。朴さんからお話とできたらお唄もおききたいと思っています。ふるってご参加ください。

「関東大震災90年～朝鮮人虐殺事件の意味を、いま、考える～」(仮題) 山田昭次さん

日時：2013年9月3日（火）午後6時30分
 会場：神戸学生青年センター
 参加費：600円
 講師：山田昭次さん（立教大名誉教授。）

●主催・問合せ先：(財) 神戸学生青年センター
 〒657-0064 神戸市灘区山田町3-1-1
 TEL 078-851-2760 FAX 078-821-5878
 URL <http://ksyc.jp/> e-mail info@ksyc.jp



- 阪急六甲より徒歩3分
- JR六甲道より徒歩10分
- 新幹線新神戸駅よりタクシー15分